

## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：木村昌司

<b>事業名</b> ：一般国道13号 <small>かみのやま</small> 上山バイパス <b>事業区分</b> ：一般国道	<b>事業主体</b> ：国土交通省 東北地方整備局 <b>延長</b> ：11.5 km								
<b>起終点</b> ：自：山形県南陽市川樋 <small>やまがたけんなんようしつかわとい</small> 至：山形県上市市金生 <small>やまがたけんかみのやましかのい</small>									
<b>事業概要</b> 上山バイパスは、上市市街地を通過する一般国道13号の交通混雑の解消や緊急輸送道路の信頼性の向上等を目的とした延長11.5kmの4車線道路である。									
S54年度事業化      H9年度都市計画決定      S61年度用地着手      S62年度工事着手									
<b>全体事業費</b> ：450億円 <b>事業進捗率</b> ：67% <b>供用済延長</b> ：4.8km <b>計画交通量</b> ：25,500台/日									
<b>費用対効果分析結果</b> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"><b>B/C</b> (事業全体)：1.6</td> <td style="width: 20%;"><b>総費用</b> (残事業/事業全体)：192/563億円</td> <td style="width: 20%;"><b>総便益</b> (残事業/事業全体)：573/885億円</td> <td style="width: 20%;"><b>基準年</b>：平成18年</td> </tr> <tr> <td>(残事業)：3.0</td> <td>(事業費：138/509億円 維持管理費：54/54億円)</td> <td>(走行時間短縮便益：557/847億円 走行費用減少便益：17/37億円 交通事故減少便益：0/2億円)</td> <td></td> </tr> </table>		<b>B/C</b> (事業全体)：1.6	<b>総費用</b> (残事業/事業全体)：192/563億円	<b>総便益</b> (残事業/事業全体)：573/885億円	<b>基準年</b> ：平成18年	(残事業)：3.0	(事業費：138/509億円 維持管理費：54/54億円)	(走行時間短縮便益：557/847億円 走行費用減少便益：17/37億円 交通事故減少便益：0/2億円)	
<b>B/C</b> (事業全体)：1.6	<b>総費用</b> (残事業/事業全体)：192/563億円	<b>総便益</b> (残事業/事業全体)：573/885億円	<b>基準年</b> ：平成18年						
(残事業)：3.0	(事業費：138/509億円 維持管理費：54/54億円)	(走行時間短縮便益：557/847億円 走行費用減少便益：17/37億円 交通事故減少便益：0/2億円)							
<b>感度分析の結果</b> ：事業全体・残事業について感度分析を実施 【事業全体】交通量変動 B/C=1.7(交通量+10%)B/C=1.4(交通量-10%)    【残事業】交通量変動 B/C=3.3(交通量+10%)B/C=2.7(交通量-10%) 事業費変動 B/C=1.5(事業費+10%)B/C=1.7(事業費-10%)    事業費変動 B/C=2.8(事業費+10%)B/C=3.2(事業費-10%) 事業期間変動 B/C=1.2(事業期間+20%)B/C=1.9(事業期間-20%)    事業期間変動 B/C=2.8(事業期間+20%)B/C=3.1(事業期間-20%)									
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる） ・災害への備え（緊急輸送道路が通行止めとなった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する）他10項目に該当									
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 上山バイパスは、上市市街地を通過する一般国道13号の交通混雑の解消や隘路解消による事故減少、緊急輸送道路の信頼性の向上等に大きな役割を果たすことが期待されており、上市市議会及び南陽市議会から早期整備の要望を受けている。									
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。									
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 【執行済み額】事業費：300億円（進捗率67%）    うち用地費：99億円（97%）									
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 上市市中山～川口（L=3.7km）については、工事進捗中であるが、一部用地難航（1件）があり、今年度土地収用法に基づく事業認定申請を行う。									
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 橋梁からアーチカルバートへの構造変更によりコスト縮減を図る。									
<b>対応方針</b> ：事業継続									
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。									
<b>事業概要図</b> 									

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。